

農業用ダムの貯水状況調査 【大分県集計】

(令和3年10月1日 12:00 現在)

農村基盤整備課 水利整備班

都道府県名	管内	水系名	ダム名	有効貯水量 (千m3)	受益面積(ha)		管理者名	現貯水量 (千m3)	貯水率 (%)	前回調査との比較		平成(H23-R2)との比較		備考
					うち水田	9月15日時点 貯水率(%)				9月15日時点 との増減(%)	平成同時期 貯水率(%)	平成比(%)		
	中部	大野川	石場ダム	2,154	948.0		野津土地改良区	1,609	74.7	81.7	△ 7.0	97.4	76.7	
	上流	大野川	大谷ダム	1,500	555.0	555.0	荻柏原土地改良区	820	100.0	100.0	0.0	93.9	106.5	
		大野川	大蘇ダム	3,890	1,865.0	767.0	大野川上流地域維持管理協議会	3,978	92.5	97.0	△ 4.5	—	—	
	大野	大野川	師田原ダム	2,912	1,160.0	284.0	大野町土地改良区	1,958	67.2	72.5	△ 5.3	80.3	83.8	
	北部	桂川	並石ダム	1,429	670.0	255.0	並石土地改良区	1,429	100.0	100.0	0.0	96.5	103.6	
		駅館川	日出生ダム	7,160	3,666.5	2,479.9	駅館川土地改良区連合	3,786	52.9	63.3	△ 10.5	59.3	89.1	
		駅館川	日指ダム	4,510	2,761.3	2,190.5	駅館川土地改良区連合	3,431	76.1	84.8	△ 8.7	79.4	95.8	
		駅館川	香下ダム	2,020	477.0	272.7	駅館川土地改良区連合	1,585	78.5	85.1	△ 6.6	82.8	94.7	
		駅館川	深見ダム	1,250	776.0	776.0	宇佐市	882	70.6	80.0	△ 9.5	68.7	102.7	
		合計		9										

※平成貯水量はH23年度～令和2年度の貯水量より算出、国報告は過去蓄積データ(ダムごと)全てより算出しているため、平年値は異なる。

※大谷ダムは堆積量が680千m3程度あるため、貯水率については、堆砂量を考慮し、農業用水として利用可能な820千m3に対して算定している。

水利貯水量

大分県	北部	山国川	耶馬溪ダム	9,800			国土交通省	8,238	84.1	92.7	△ 8.6	90.9	92.5	
-----	----	-----	-------	-------	--	--	-------	-------	------	------	-------	------	------	--

※平成貯水量は平成23年度～令和2年度の貯水量より算出。